

(第3回) アスファルト合材の不正納入に関する有識者委員会
議事概要

1. 日時 令和6年12月24日(火) 13:00~14:30
2. 場所 中央合同庁舎2号館1階国土交通省共用会議室2A・2B
3. 出席委員
小澤委員長、秋葉副委員長、伊藤委員、桑原委員、高橋委員、坪川委員、福手委員、渡邊委員
4. 議事概要
 - 1) 中間報告書(案)について
中間報告書(案)を事務局より説明。委員からの主な意見は以下のとおり。
 - ・まず、取り組むべきは不正納入された工事の修補等の履行のフォローアップである。
 - ・(株)NIPPO、鹿島道路(株)の再発防止策の履行のフォローアップ時の確認事項に「再生骨材配合率」を入れて、使用割合の状況を確認すべきではないか。
 - ・不正を防止するためにルールを厳しくするといったことのみならず、循環型社会や脱炭素社会の実現に向け、リサイクル材料の活用、舗装に求める性能の向上、品質確保・管理の技術開発を図っていくことが重要ではないか。
 - ・再生骨材の活用を一層進めるためにも、それに応じた技術基準や品質管理の手法を構築していく必要があるのではないか。
 - ・発注者による監督、検査の強化については、的確・合理的な仕組みを検討していく必要があるのではないか。例えば、プラントが提出した製造データ等をAIが自動で判定することなど。中間報告以降の対応にそのような記載も盛り込むべきではないか。
 - ・不正を働いたプラントについては事前審査制度における認定の取り消しや、再発防止が確認できたら再認定するなどの取り組みなど、事前審査制度の改善が必要ではないか。
 - 2) 今後の進め方
今後の検討の流れを事務局より説明。

以上